

ハーレー順序 (\leq_p) とは
N次元で考えるとすると ($x_i, y_i \in R^+$)

$$x \leq_p y \Leftrightarrow x_i \leq y_i \quad (i=1, 2, \dots, N)$$

〔大小関係にに関する順序〕

が成り立つことである

ハーレー順序が半順序関係、つまり反射律、反対称律、推移律と完備ではないことを示す

・反射律 $x \leq_p x$

これは $x_i \leq x_i$ であるため明らか

・反対称律 $x \leq_p y \wedge y \leq_p x \Rightarrow x = y$

$$x \leq_p y \wedge y \leq_p x \text{ と } x_i = y_i \quad (i=1, 2, \dots, N)$$

$$\therefore x = y \square$$

・推移律 $x \leq_p y \wedge y \leq_p z \Rightarrow x \leq_p z$

$$(x \leq_p y \rightarrow x_i \leq y_i) \quad (i=1, 2, \dots, N)$$

$$y \leq_p z \rightarrow y_i \leq z_i \quad (i=1, 2, \dots, N)$$

$$\therefore x_i \leq z_i \quad (i=1, 2, \dots, N)$$

$$\rightarrow x \leq_p z \square$$

完備ではないことは、ある i について $x_i < y_i$ なるものを考えれば明らか。

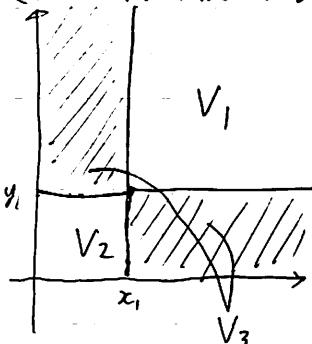
つまり $A = \{i | i=1, 2, \dots, N\}$ 、 $B \subset A$ かつ $B \neq \emptyset$ なる 2 つの集合について

$$\begin{cases} x_i \leq y_i & (i \in A \setminus B) \\ x_i > y_i & (i \in B) \end{cases} \quad (x_i, y_i \text{ は任意の } R^+ \text{ と } x, y \text{ は})$$

$$\begin{cases} x_i > y_i & (i \in B) \\ \text{存在する} & \end{cases}$$

が成り立つ x, y はハーレー順序を適用することができます、完備ではない

次に比喩不能なものの同士を無差別としたときの反例を示す



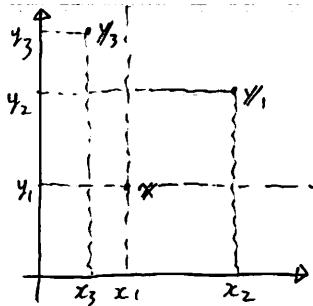
V_1, V_2 は境界を含む

$x = (x_1, y_1)$ とすれば

$y_1 \in V_1$ に対しては $x \leq_p y_1$ であり

$y_2 \in V_2$ に対しては $y_2 \leq_p x$ であり

$y_3 \in V_3$ に対しては $x =_p y_3$ ($=_p$ は最初の仮定から $x = y$ である。この場合、 x と y は無差別である)



$$\begin{aligned} X &= (x_1, y_1) \\ Y_1 &= (x_2, y_2) \quad \left(\begin{array}{l} x_3 < x_1 < x_2 \\ y_1 < y_2 < y_3 \end{array} \right) \\ Y_2 &= (x_3, y_3) \end{aligned}$$

このとき $X \leq_p Y_1 \dots (1)$

$X =_p Y_3 \dots (2)$

また Y_1 は Y_3 ににおける V_3 に位置しているため

$Y_3 =_p Y_1 \dots (3)$

(2), (3)より

$X =_p Y_1 \dots (4)$

一方で「 \leq_p 」において同じ効用になるときといふのは

$X_i = Y_i \quad (i=1, 2)$

のときには限るので(1)では Y_1 は狭義に X よりハート効率が高いうといえる

これは(4)と矛盾するので比較不能なものの同士を無差別効用とするのは無理である

今回2次元で考察したが、これはN次元まで拡張が可能である。

$X = (x_1, x_2, \dots, x_N)$

$Y = (y_1, y_2, \dots, y_N)$

これら2つが " $X \leq_p Y$ " であり

$Z = (z_1, z_2, \dots, z_n)$ が

$(z_1 < x_1 < y_1)$
 $(z_2 < y_2 < z_2)$

なる関係を満たすとすれば示せる

(2)と(3)で推移律が成り立つとしたが、これは恐らく成り立つと思う